

# そうじの力だより

VOL.217



## 支援事例紹介

小さくても誇れる会社に  
〜環境整備は、人と人との繋がりを強くする活動〜

福井県鯖江市の(有)ファイン。特殊印刷業を営む、総勢十一人の会社です。ここで、弊社の支援により、十二年前から環境整備の取り組みが続けられています。

当初は、工場内に無駄なモノが多く、手狭でした。最初の一〜二年間で、不要なものを徹底的に処分し、余裕のあるスペースに生まれ変わりました。

また、当初は、壁と言いい、床と言いい、機械と言いい、インクまみれだったのです。それが、それを皆で一生懸命にこそげ落とし、ピカピカにしました。



現在の、塵一つ落ちていない工場内

活動を開始してから四年目には、はじめて、外部の方々をお招きして、環境整備の発表会(見学会)を開催しました。発表会をすることで、社員にとっては、良い緊張感を持つてよりいっそう活動に力が入ると同時に、来てくれたお客様にとっても、活動内容は大いに参考になります。

以降、原則として毎年発表会を行っていたのですが、コロナ禍でこの三年間は、開催ができませんでした。

そして

コロナが五類に移行して、五月二〇日、久しぶりに開催

することができました。総勢二五名の満席のご参加をいただきました。

コロナによる三年間のインターバルは、同社にとって、無駄ではなかったようです。この三年間で、整理・整頓・清掃を超えた、「オープンファクトリー」(魅せる工場)を目指す方針が固まりました。

空 間 デザイン 依頼し、社内

のサイン制作すると、柵や作業台、機械などを

イメージカラーに統一するようにしました。塗装作業などは、出来る限り、自分たちでDIYで行っています。



新たに掲示された社内のサイン(案内板)



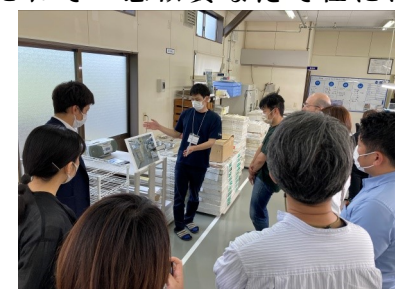
発表会冒頭、藤井高大社長の挨拶

「ファインのモットーは、「どうせやるなら、楽しく！」。そのモットーどおり、改善の様々な作業は、笑い声にあふれた楽しい雰囲気で行われています。

今回の発表会に参加してみて、筆者が感じたのは、同社の皆さんが、今まで以上に自信を持って発表に臨んでいる、ということでした。

「今日はキレイになった社内を見て欲しいだけなく、社員を見て欲しいと思

います。小さくても誇れる会社にしよう、自分たちの会社は自分たちで作る、というのが、わが社の環境整備の目的です。」



社員の発表に耳を傾ける参加者たち



社員のDIYによる床面の塗装作業

冒頭に、とても面白く、わかりやすいプレゼンをしてくれた社員、笠原徹さんのコメントです。「環境整備に取り組んで、効率は良くなりました、売上も利益もじわじわと上がっています。でも、環境整備をやって一番良かったのは、人と人との繋がりを強くする活動だということです。」

参加してくれた方々の感想です。「楽しい会社、社員の雰囲気が良いですね。社長vs社員になったり、孤立する人が出たりしないのが素晴らしい。」

「インクを使う会社とは思えないほどきれいだ。社外の人でもパッと見ただけで何が置いてあるかわかるのはすごいことだと思います。」

「常に工夫し、変化に対応できるように全員が進んでいる感じがした。自分たちで手を入れて会社を大事にする。会社に愛着がわくのが良かった。誰かに言われてやっていたのから脱却して、自分たちで変えていくのがよかったです。」

ファインの環境整備も、いよいよ次のステージに突入です。(小早)



笑顔溢れるファインの全メンバー

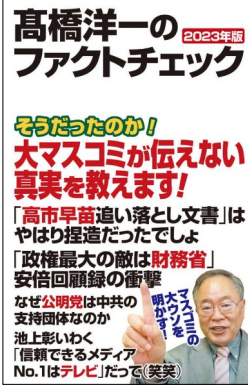
企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。



ツイッターで、「環境整備 一日一言」を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！

## 今月の読書から

『高橋洋一のファクトチェック2023年版』高橋洋一著  
～実は日本は黒字！～

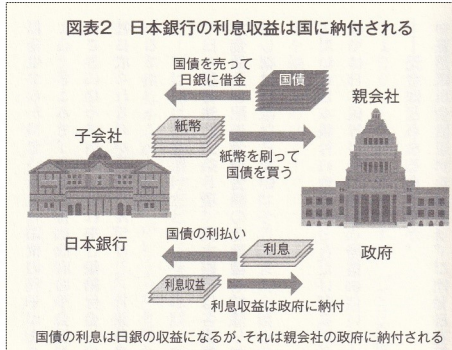


世の中で起こっていることの実態を把握するためには、多読、つまり様々な角度の本をたくさん読むしかない、ということを感じます。マスコミ情報だけでは、真実は見えません。

「国は借金漬けだ」と言われますが、本当なのでしょうが、本書の著者は、財務省の元高官で、小泉政権や安倍政権でブレーンとして活躍した人です。

〈政府が借金するということは国債を発行するということです。ということは、国債を買って持っている人に必ず利息を払わなきゃいけない。(中略)だけど、国債を持っているのが日本銀行だったらどうなるかって話だよ。もちろん、日本銀行にだって政府は利息を払う。(中略)ところで、日本銀行は政府の子会社だから、日本銀行

の収益は100%政府に取めることになっている。これを日銀納付金というんだ。(中略)だから、日本銀行に政府がどれだけ利払いしてもぜんぶ納付金で回収できるから、その意味では日本銀行が持っている国債については全く利払いする必要がない、そういうことですよ。〉



〈(元金については)普通は現金償還するでしょ。だけど日本銀行に対して現金を払う必要はないじゃない。償還期限が来たら現金の代わりに国債を渡す。それだけ。(中略)つまりずっと借り換えを続けるわけです。〉

図表3 政府の資産と負債

資産	負債
金融資産など 600兆円	1000兆円
	日本銀行持分 500兆円
	500兆円

政府は実質負債より資産が大きい

〈そう考えると1000兆円の借金があるのは事実だけれど、実際は利払いもしない、償還もしない、利息も元金も払う必要のないものが半分の500兆円あるってことですよ。〉

〈500兆円を民間に借金しているのは事実だけれど、一方で政府は、実は600兆円以上の金融資産を持っているんです。〉

〈(日本政府は)ものすごい黒字というわけでもないけど、トントンって感じかな。〉

右や左、表と裏、色々な角度の本をたくさん読んでいく中で、だんだんと真実が見えてきます。(小早)

### 編集後記

ちょいハマリ

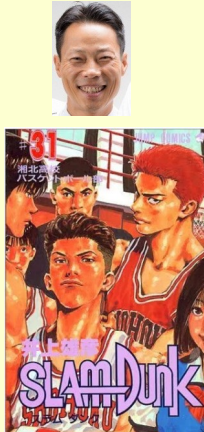
アニメ映画『ザ・ファーストスラムダンク』を観ました。

実は私、スラムダンクという漫画をまったく読んだことがなかったのですが、この映画を観て、いたく感動。

そこから、出張でホテルに泊まるたびに、コミックコーナーに置いてある漫画を第1巻から読み始め、つい先日、全31巻を読破しました。

友情・努力・勝利、そしてお笑いという、少年漫画の王道を行くこの漫画に、まんまとハマってしまいました。

(小早)



### 飛鳥のつばやき

音読はつらいよ

年長さんの長男。長いお話が読めるようになってきたので、「そろそろ読めるか…?」と思って、図書館で『エルマーのぼうけん』を借りてきました。

夜寝る前に1話ずつ読んであげようと思っていたのですが、大ヒットだったらしく、「次も」「次も」…。

結局1時間半くらいかかって、128ページ全て音読させられたのでした(^q^)

ここからは先は、読み聞かせに喉が試されるのか…(大概)



## 株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、  
日本で唯一の研修会社

弊社は“そうじ＝環境整備”を通じ

た「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)